

三九六三番

世よの中なかは 数かずなきものか 春花はるはなの 散ちりのまがひ  
に 死しぬべき思おもへば

三九六四番

山川やまかわの そきへを遠とほみ はしきよし 妹いもを相あひ見みず  
かくや嘆なげかむ

守大伴宿禰家持、  
掾大伴宿禰池主に贈る

悲かなしみのうた  
歌二首

三九六五番

春はるの花はな 今いまは盛さかりに 匂におふらむ 折をりてかざさむ  
手力たぢからもがも